

おおつこうとうがっこう
大津高等学校

さかみち ふ べん かいぜん あら してん かつよう
「坂道の不便さの改善と新たな視点での活用について」

やました きいち まつもと みと
山下 輝吉議員・松本 碧心議員

質問

やましたぎいん
山下議員

わたし おおつまち さか おお せいかつ ふべんせい かいぜん ともな かんこうし
私たちは、大津町に坂が多いことによる生活の不便性の改善と、それに伴う観光資
げん かくほ しつもん おも
源の確保について質問したいと思います。

おおつまち あそさん ちか くまもとし ちゅうかんぶ とお みち きたがわ さんかん
大津町は阿蘇山に近く、熊本市との中間部であるとともに、通り道であり北側が山間
ち ひじょう さかみち おお さか うんど うれしいとい
地になっており、非常に坂道が多いです。坂があることで運動になるからうれしいと言
かた いっぽう じどうせいと つうがく じてんしゃ つうきん しゅみ あそほうめん む
う方もいる一方で、児童生徒の通学、自転車での通勤、はたまた趣味で阿蘇方面へ向か
ひと くとく みち じぶん まいにち みさきの おおつこう づうがく
う人にとっては苦難の道になってしまいます。自分も毎日、美咲野から大津高校へ通学
してありますが、毎日の自転車での通学はとてもきついです。同じように感じている人も
おお おも
多いと思います。

たとえ、しょうようこう おお せいと つうがく とお しょうようざか よ きゅうこうばい さか
例えば、翔陽高校の多くの生徒が通学路で通る「翔陽坂」と呼ばれる急勾配の坂
や、「日吉神社」に行くまでの坂、美咲野までのかかなり距離のある坂などがあり、そのあ
たり がつこう かよ じどうせいと ふべん かん
たりの学校に通っている児童生徒はかなり不便に感じているそうです。

わたし ふだん せいかつ りべんせい こうじょう さかみち
そこで、私たちは普段の生活の利便性を向上させるために、これらのどれかの坂道
にサイクロケーブルという自転車リフト等を設けることができないかを質問します。サ
イクロケーブルというのは、道路に設置されたレールについているペダルに自分の片足
をはめると、じどう いどう
自動で移動できるリフトのことです。

れい として、ノルウェーのトロンハイムの坂道には、サイクロケーブルという自転車リ
フトがあるそうです。自転車はもちろんベビーカーでも片足を乗せるだけでスイスイ登
れるので、子育て中の人にもおすすめです。また、事故が起きないように、お互いに
きょうりょく れんしゅう あ ちいきこうりゅう めん かつやく
協力して練習し合っているということで、地域交流の面でもとても活躍しているそ
うです。さらに、かんこうきゃく にもめあたら げんざい ひじょう にんき せつび
うです。このことは、ちいき ひと べんり かんこうしげん しめ
そうです。このことは、地域の人たちの利便性が、観光資源にもつながることを示して
います。

また、サイクロケーブルは歩道と区別するための柵を含めても非常にコンパクトに設
ちか のう たと みさきの さか まちか けんぞうぶつ せつち
置可能だそうです。例えば、美咲野までの坂ならば、間近に建造物がないため設置する

スペースがあるのではないのでしょうか。このような自転車リフトを設置することは、町の利便性を向上させるだけでなく、観光の点でも意味があると考えられ、大津を起点に阿蘇までのサイクロケーブルを含めたお散歩ロードを作ったりすることで、観光資源にもなり、一石二鳥ではないかと考えます。

私たちは、海外の例であるサイクロケーブルを例に、町の人たちの利便性の向上とともに、新たな施設である観光資源にもなるのではないかと考えたところです。

そこで、このような新たな発想で町の利便性の向上や観光資源を創出することについて町長の考えをお聞きします。

答弁

金田町長

大津町は坂道が多いことによる不便性の改善と、それに併せた観光資源の確保についての質問にお答えします。

大津町の約半分は山林が占めており、議員ご指摘のとおり近隣の菊陽町や合志市と比較しても土地に高低差がある坂の多い町となっています。そうしたなか、議員がご提案されたノルウェーのサイクロケーブルについて町としても調査研究を行ったところ、ノルウェーにおいては国の政策として自転車を活用することにより二酸化炭素の問題や、大気汚染、騒音、美しい景観を保ち続けることなどに取り組む中で導入したようです。ノルウェーのトロンハイムに設置されているサイクロケーブルがある場所は、道路の傾斜が18%もある急な坂道であり、ほぼ直線の延長約130mの道路の中に、自転車と歩行者の専用道路が併せて設置されているようです。道路の傾斜は、大津町の坂で言うと、町民グラウンドの東側の坂が17%ですので、とても急な坂のようで、自転車走行に適した道路ではないことと併せ、交通安全対策や文化的景観に貢献するなど、国の政策の重点事項として取り組んでいるからではないかと推測されます。また、このトロンハイムという都市は、3万人近くいる学生の9割、約2万7千人が自転車を利用しているのを見込んで設置されたようです。

町としましては、道路整備を行ううえで、安全性や交通の便がどれくらい良くなるか（利便性）、整備にかけた費用（コスト）に対してどの程度の効果が生まれるか（費用対効果）を重視し、道路構造令という道路の安全性を確保するための一般的な技術基準を

さだめ ほうれい もと とうろく かいりょう おこな こんご じてんしゃせんよう せっち ぶく
定めた法令に基づいて道路改良を行っています。今後、自転車専用レーンの設置や複
すう じちたい れんけい おこな じてんしゃ かつよう かんこう えきしゅう
数の自治体が連携して行うサイクルツーリズム（自転車を活用した観光）など、駅周
へん ころそう もと ひ ご おおづ えきしゅうへん せいび すず せいび
辺まちづくり構想に基づき、肥後大津駅周辺の整備を進めていきますが、整備をするに
あたって、一定のエリア内において、自転車を自由に貸し出しや返却ができるシェアサ
イクルなど、観光と環境保全が同時に取り組める回遊性が創出できる政策の実現も含
めて検討しています。

かんこうめん おおづ まち ほん だ ぎけんこうぎょうかぶしきがいしゃ こくないゆいいつ にりんせいさんきよてん
観光面においては、大津町には本田技研工業株式会社の国内唯一の二輪生産拠点であ
る熊本製作所があり、阿蘇へ向かう玄関口としてライダーの立ち寄りも多いことから、
「バイクのまち大津町」としてPR強化に取り組んでいるところです。機動力では、
バイクには敵わないかもしれませんが、自転車を利用することによって、大津町内の歴
しぶんか しぜん まちな みじか たの かんが こんご かんこうしげん
史文化、自然、街並みなどを身近に楽しんでいただけると考えますし、今後の観光資源
の磨き上げに自転車の利用の検討もできると考えております。

げんじょう かだい げんざい おおづ まち とうろく くるま りょう おお
しかしながら、現状の課題として現在の大津町の道路では、車の利用も多く、JA
SMおよび関連企業進出の影響による渋滞等の問題も含め、大津町においてサイクロ
ケーブルを設置するには、多くの人が行きかう道路の幅の広さや傾斜、交通量など、安
ぜんせいなど けんとう かだい おお しょうきょう
全性等について検討すべき課題も多い状況にあります。

したがって、まずは地域の主要な地点を結ぶような主要道路などを新規に造るとき
や、今ある道路の幅を広げるような工事を行う場合は、自転車レーンや歩行者の安全性
や利便性についても検討していきます。しかしながら、日本国内に留まらず議員ご提案
のような海外の事例にも高いアンテナを立て、その中で大津町において活用が見込める
と組むについては、積極的に調査研究を進めることは今後のまちづくりを考えるう
えでも非常に重要であると感じたところです。また、そうした先進的取組みを観光面な
ど他の分野でも生かすことは行政としての予算なども限られる中で、非常に大切な視点
であると考えています。

こんかい しつもん たよう いけんとう こんご
今回、ご質問いただいたアイデアなど多様な意見等については、今後のまちづくりの
さんこう りべんせい あんぜんせい はいりょ とうろく せいび とく かんこうめん れんどう
参考とし、利便性や安全性に配慮した道路整備に取り組むとともに、観光面との連動も
はか
図っていきます。

感想

まつもとぎいん
松本議員

ちようちょう こた
町長、お答えいただきありがとうございました。

「おおづまち さかみち ばん かいぜんさく
「大津町の坂道の不便」の改善策である「サイクロケーブルの設置」については、設
ち
置するとなるとほうりつ とうろく はば か
法律によって道路の幅を変えなければならないという答えについても十
ぶん りかい
分に理解できます。したがって、こんご おおづまち あそ あいだ さか
今後は大津町から阿蘇の間にある坂をサイクリングコ
ースなどのようにかんこうしげん
観光資源になっていけばいいのではないかと思いました。

また、さかみち
坂道があることでけんこうそくしん たいりょくい し
健康促進や体力維持にもつながり決してわるいことだけでな
いということもわかりました。ふだん さかみち りよう がくせい きんりんじゅうみん
普段この坂道を利用している学生や近隣住民のみなさま
のことをかんが とき
考えた時に「ここにサイクロケーブルを設置して工事になったらそれもまたふ
べん
便ではないか」というかんが
考えもあると思います。したがって、こんご さかみち かんこうし
今後はこの坂道を「観光資
げん けんこうそくしん
源かつ健康促進」というかんが
考えで利用していきたいです。

また、せんしゅうみさきの あたら てい み
先週美咲野に新しいバス停を見かけました。よくよく見て行くとこのような
へん か
変化があることに気づき、あらた まち かんきょうかいぜん たい ねつ い かん
改めて町の環境改善に対する熱意を感じたところです。こ
のしつちん
質問をすることとお わたし
私たちだけでなく、きんりんじゅうみん みなさま たちば かんが
近隣住民の皆様の立場になり考
えて
みることができました。そのことで、このさかみち かつようほうほう かんが みかた か
坂道の活用方法を考え、見方が変わり、より
よいまちづくりについてかんが
考える機会となりました。ありがとうございました。